

「坪井さん、松島さん、大いに語る」

～「多摩地域の図書館行政を担う図書館員に聞く」その1

多摩の図書館行政を担う館長さんにお越しいただき、自館の運営方針や紹介したいサービス、あるいは資料保存の現状や考え方について語っていただく企画を始めます。

第一回目は、図書館経験の長い坪井茂美館長（府中市立図書館）と松島満館長（あきる野市図書館）にお越しいただきます。

図書館を開館したのが早い分、老朽化や建替えが課題になっている市も多いなか、どちらの市も2007年に中央図書館を新たにオープンさせています。歴史のある図書館であり、図書館を運営する上での御苦労もあると思います。また資料的価値のあるおタカラも多いはず。

なお、両館とも自動出納書庫を持っています。開館してしばらくたって、資料保存・出納の実態が他館ときっと異なる点も聞きどころ。ぜひおいで下さい。

8月4日（月）午後6時30分～9時

講師：坪井茂美氏（府中市立図書館長）

松島満氏（あきる野市図書館長）

会場：国分寺労政会館 地下1F 第1会議室

（国分寺駅南口徒歩5分）

国分寺市南町3-22-10

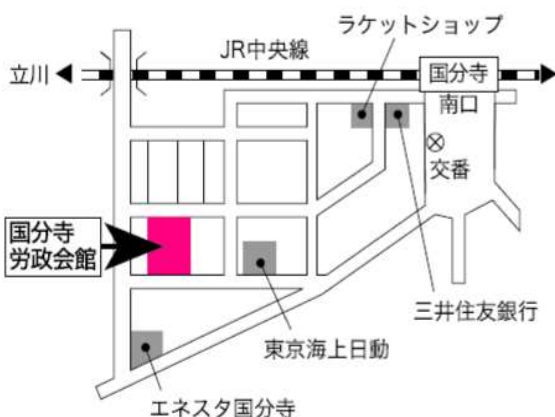
TEL：042-323-8515

参加費：300円（会場代事務費等）

定員：50人先着（事前申込み不要、当日直接会場へ）

主催：NPO法人共同保存図書館・多摩

——NPOの会員でなくても、どなたでも参加できます——



●あきる野市図書館は、古い歴史をもつ五日市図書館、そして新たに建設された中央図書館と東部図書館エル等がうまく機能し、全域サービスを展開しています。「五日市憲法草案」を保存する図書館としても知られています。

●府中市立図書館は、多摩地域の図書館行政をけん引してきた歴史ある図書館の一つです。中央図書館は2007年にオープン。PFI方式で運営されています。市内にある12の分館とともに多くの市民に利用されています。

